

写

岩手県知事 達 増 拓 也 様

国保診療施設等の医師確保に関する要望書

令和元年 12 月 20 日

岩手県盛岡市大沢川原三丁目 7 番 30 号

岩手県国民健康保険団体連合会

理事長 谷 藤 裕 明



国保診療施設等の医師確保に関する要望書

国保診療施設等の市町村立病院・診療所は、地域に根ざした保健医療福祉活動を実践する施設として、県民医療の一翼を担う重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、本県の医師不足は極めて厳しい状況にあり、国保診療施設等の開設者である市町村においては、医師確保が最重要課題と位置付けられておりますが、先般、厚生労働省が地域医療構想の推進にあたり、再編・統合の再検証を要請する公立・公的病院を公表したことにより、医療現場で動搖が生じ、医師を含めた医療従事者の確保にも影響が出てきているところであります。

このような中、本県の地域医療の確保を目的とした市町村医師養成事業においては、養成医師の義務履行先として国保診療施設等に充分な配置となっていないのが現状であり、医師の安定的な確保が急務であります。

県におかれでは、医師確保対策の一環として取り組まれている岩手県奨学金養成医師配置調整会議により、養成医師の中小病院等への配置に御尽力されているところですが、特にも、国保診療施設等の医師配置について御尽力いただきますよう、以下の点について、強く要望いたします。

記

- 1 市町村医師養成修学資金をはじめ、岩手県医師修学資金及び医療局医師奨学資金で養成した医師の国保診療施設等への配置に御尽力いただきたいこと。
- 2 自治医科大学卒業医師の国保診療施設等への配置を増員されたいこと。
- 3 市町村及び当連合会は、連携しながら代診医の確保を含め、国保診療施設等の医師確保に努めているが、県においても引き続き御支援いただきたいこと。